

平成30年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 1年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	- 文章を読み、内容の大体を捉えること。 - 経験したことや想像したことから書くことを見付け、伝えたいことを表現すること。 - 行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 - 平仮名や片仮名を正しく読んだり書いたりすること。	- 繰り返し音読をさせたり、題名や写真・挿絵などを手掛かりにさせたりする。 - モデルを示したり、学習計画を立てて学習の見通しをもたせたりすることで、伝えたい相手に伝えたいことを表現しようという意欲付けを行う。 - ペアやトリオで対話をさせることで、伝えたい事柄やその順序を明確にもたせる。 - 日常的に書く機会を設け、書くことに慣れさせる。
算数	- 具体物を用いて、数の感覚を豊かにすること。 - 加法及び、減法の意味を理解し、用いることができること。	- 具体物やおはじきなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりする。 - 具体物・半具体物の操作、図、式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがひ」等の言葉の意味を実感させ、加法や減法の計算方法を身に付けさせる。
生活科	自分の身近な人々、社会などのかかわりに気が付き、生活上必要な技能を身に付けること。	ふれあい給食会や学校探検など様々な人とかかわりの中で学ぶ機会を設け、自分たちで考える活動を行う。
体育	- 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるようにするとともに、その基本的な動きを身に着け、体力を養うこと。 - 誰とでも仲よく活動し、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てること。	- 動きのイメージをしやすような合言葉やルールを取り入れる。またリズムに乗って体を動かすことで楽しさを感じられるようにする。 - 友達のよい動きを見つける機会をふやすために、交流の場を設け、児童同士が声をかけあって活動できるよう良い動きや声掛けの例を示す。
道徳	- 登場人物の気持ちを想像し、表現すること。 - これまでの自分を振り返ったり、今後の自分の在り方について考えたりすること。	- ペアでの役割演技やグループでの話し合い、ワークシートへの記入などを設定する。 - ワークシートなどを活用して、じっくり考える時間を確保する。

音楽	・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむことができるようにすること。 ・思いをもって表現したり、曲や演奏の楽しさを見出し音楽を聴いたりできるようにすること。 ・音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けるようにすること。	・今月の歌や季節の歌など、教科書、歌集を活用し、歌のレパートリーを広げ、みんなで歌う楽しさを味わえるようにする。また、友達と声や体、身の回りの様々な音の特徴に感じ取って音遊びの経験をくり返し行い、音や音楽に親しむようにする。 ・電子黒板を活用し、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業を目指す。児童が思いをもって表現するために、歌詞や旋律、生活経験からイメージを広げていくことができるように学習過程を工夫する。 また、音楽を聴いて、曲想や音楽の構造のかかわりを児童自らが自分なりに感じ、気付いていく過程を大切にする。 ・1時間1時間のねらいを明らかにする。 旋律の流れやリズムに合わせて意識的に多く体を動かす活動を取り入れる。その際、一人で、ペア、グループなど友達と関わる場も設定するようにする。 自分の声・音、友達の声・音をよく聴くことを常に促し、みんなで合わせる楽しさを味わわせるようにする。また、児童の発達段階に即した教材を用意し、児童の思いやイメージを大切にしたい学習過程を工夫し、技能が無理なく身に付くようにする。
図工	・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、手や体全体の感覚や技能などを働かせ材料や用具を用いて表現すること。 ・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにすること。 ・楽しく表したり見たりする活動に取り組み、作り出す喜びを味わうこと。	・技能面に関しては、図や実演などで示す。繰り返し取り組めるように設定する。また、個別に指導する必要がある場面を見落とさないように気を付けて指導する。 ・自分の作品のよさに気づかせ、自信をもたせる。また、友達の作品のよい点などを見つけるような交流の場を設ける。 ・学習意欲をもつことができ、持続できるような内容を設定する。



	成果○ と 課題▼
国語	○内容の大体を捉えて読み、登場人物の気持ちを考えたり文章の中の重要な語や文を選び出したりすることができた。 ○教師がモデルを示したり、相手意識・目的意識の感じられる学習計画を立てたりしたことで、児童は自分の経験したことや想像したことから伝えたいことを表現することができた。 ○話す事柄の順序を考え、自分の行動したことや経験したことを話すことができた。 ○宿題や日頃の書く活動を通して書くことに慣れ、正しい字を使って書こうという意識が育った。 ▼特に原稿用紙を正しく使って伝えたいことを詳しく書く力については、能力に個人差があるように感じている。楽しく文作りができる活動を行ったり、構成表にヒントとなる文を書いて支援としたりすることで、意欲的に書く活動に取り組めるとともに交流活動を充実させ、友達や自分の文章の良さに気付かせる。
算数	○具体物やおはじきなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりすることができるようになった。また、10のかたまりや5とび、2とびなど、数え方を自分なりに工夫して数えることができるようになった。 ○具体物・半具体物の操作、図、式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがひ」等の言葉の意味を実感し、加法や減法の計算方法が身に付いてきた。どんな計算になるのかを考えるときに、図や言葉を用いて説明して、取り組めるようになった。 ▼10の合成分解や念頭処理による計算を確実にするため、引き続き反復練習をしていく。
生活科	○ふれあい給食会や幼稚園との交流を通して、多くの方とのつながりに気が付くことができた。 ○「かぞくにここにこだいさくせん」の学習で、家族のために自分たちができていることに気が付き、家族への所属感が生まれた。 ▼友達との関わりの中で、よりよい工夫やアイディアが生まれるよう学習を計画していく。
体育	○体づくり運動での短縄やとびばこあそびでは、友達同士見合う時間を設けることでアドバイスをしたり、よいところを真似したりなど、学び合う姿が見られ誰とでも仲良く活動することにつながった。 ○ボールを投げる時、とびばこを跳ぶときのリズムなども声に出すことで、動作をイメージすることがしやすく、基本的な動作が身に付くことにつながった。 ▼引き続き、様々な体の動かし方を体験することで、運動の楽しさを味わわせていく。
道徳	○教材や発問に合わせた教材提示を行ったり、児童の活動を工夫して設定したりしたことで、児童は、登場人物の気持ちに寄り添って想像することができた。 ○ワークシートを活用したりじっくり振り返る時間をとったりしたことで、児童が自分自身の問題として考えることができた。 ▼児童が道徳的価値の大切さを実感し、実践意欲がもてるよう引き続き指導していく。
音楽	○音楽会を通し、自分の声・音、友達の声・音をよく聴き、みんなで合わせる楽しさを味わうことができた。また、音楽表現を楽しむ技能を伸ばすことができた。 ○思いをもって表現したり、曲や演奏の良さを見出して聴いたり、電子黒板を活用したりして、イメージを広げられるようになった。また、友達と関わりをもちながら活動する楽しさも味わうようになった。 ▼鑑賞では、多くのことを知覚・感受できるようになった児童がいる一方、自信がもてなくうまく自分の感じたことを表現できなかったり文章に表せなかったりする児童がいるので体を動かす活動を手がかりに感じ取ることができるように指導をしていく。 ▼音遊びの経験をさらに深め、音楽表現する楽しさをさらに味わわせることが課題である。
図工	○学習意欲をもつことができ持続できるような内容を設定することで、意欲的に題材に取り組み、造形活動に楽しんで取り組むことができていた。 ○技能面に関しては、図や実演などで示し、繰り返し取り組めるように設定した。接着の方法を工夫したり、はさみを上手に使ったりできるようになってきている。 ○鑑賞の指導で観る視点を指導し、鑑賞する機会を設けた。自分の作品や友達の作品のよさについて、積極的に発表する姿が見られる。 ▼技能面においては、個別に指導する必要がある場面では、引き続き気を付けて指導していく必要がある。

